

企

業名： 太陽ホールディングス

レポート名： 統合報告書 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

この点については理解できたかという点微妙であった。その理由を説明する前に、まず現在はテクノロジーの進化や地球環境への意識の高まり、さらに様々な社会課題に対する政府・企業・人々の取り組みなどが加速するので、営環境が激しく変化する状況下では、短期的な変化に翻弄されることなく、より長期的視点に立った経営戦略の策定が重要であると考え、2030年には未来は大きく変化しているという予測の元2030年までの長期経営構想を立てているのは大きく評価できた点だった。しかしながら微妙にしか理解できなかった理由としてこの会社の掲げる「楽しい社会の実現」が抽象的過ぎたことだ。この統合報告書2021の11ページには「夢ある様々なモノをグローバルに生み出していきます」と書かれているが、具体的なものは書かれていなかった。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

理解できた。というのもプリント配線板の表面を覆う絶縁体のソルダーレジストの世界での市場シェアが57%以上と明記しており、この会社の競争優位性が明確に示されていた。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

結論としては理解できたが、2022年3月期の決算説明資料を読むことで理解がさらに深まった。まず理解できた理由を述べていく。この会社の競争優位性であるソルダーレジストは半導体のデバイスに広く使用されており、信頼性を大きく作用する重要な役割を持っているため、近年のオンライン需要の増加にマッチし、売り上げを大きく伸ばしていることから持続性があると理解した。決算説明会資料を読んで理解が深まった理由というのは、統合報告書2021に採用されたと書かれていた、ソルダーレジストで培ってきた要素技術を生かした高反射白色ドライフィルムが2022年3月期から販売開始され、2022年3月期の決算説明資料によると売り上げが好調だったからだ。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

思う。この会社では、会社や社会に貢献し得る新たな付加価値を生み出すことのできる人を「自律型人材」と定義して、その育成のために若手社員をリーダーに抜擢したり、経験を積んだ社員にマネジメントをやらせてみたりといった様々な実戦経験を積むことができるからだ。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

自社の弱みもしっかり伝えることがステークホルダーにもしっかり伝わるため、改善点の意見などが新しく提案されるようになって弱みがなくなる可能性があり良い方法と思った。